

電子論評

群馬大客員教授を兼務する
ソニーの萩原良昭氏



グ回路の技術を中心に電機
業界が直面している課題ま
で講演の内容は幅広い。○

群馬大学アナログ集積回路研究会
講演会の最近の主なテーマ

講 師	内 容
三洋電機	デジタルカメラの開発と半 導体への期待
ソニー	ホームエンターテインメン トのための半導体技術
東 光	高耐圧および電力制御用ト ランジスタの現状と今後
日本ビクター	オーディオアンプ回路技術
日立製作所	最近の自動車向けエレクト ロニクス技術
ルネサステク ノロジ	漏れ電流低減のための回路 技術
技術コンサル タント	CMOS回路設計のツボ
市場アナリス ト	エレクトロニクス産業の将 来

外部講師が実践教育

六年の学生向けの講演会は
二十回に上る。

が不足しているとの声が強
まってきたことだ。このま
までは新たな学生や就職先
の確保が難しくなるとの危
機感が、教官有志に企業か
ら講師を招いた実践教育を
思い立たせた。

これまで研究会で講師を
務めたのは、ソニーや三洋
電機、日本ビクター、ルネ
サステクノロジなど電機関
連企業の技術者や技術コン
サルタント、市場調査会社
のアナリストなど。アナロ

最近、A V (音響・映像)
聴するためには最終的にア

ナログ信号に変換する必要
があり、デジタル家電であ
るのも依然アナログ回路は
重要な技術であることに変
わりはない。

アナログ回路は、具体的
な回路を作った後も、様々
な調整が必要になるため、
実習を通じて経験を蓄積し
ていくことが必要とされ
る。このため、理論やプロ
グラミング作業を通じて技
術を理解しやすいデジタル
回路よりも実践教育が重要
になっている。群馬大の教
官有志がアナログ回路につ
いて実践教育の機会が必要
と考えたのも、こうした背
景がある。

研究会設立にかかわった
群馬大工学部電気電子工学
科の小林春夫教授は「私が
学生だったころは実践的な
アナログ回路を学ぶ機会が
なかったが、今の学生には
特許使用料を競合他社から
請求された特許紛争で、個
人で研究内容をメモしてい
たノートが裁判で証拠とし
て採用され、特許使用料支
払いを回避できた体験も紹
介した。講演会を聞いた学
生からは「回路技術だけで
なく経験に基づく企業の技
術者の心構えについての考
え方が参考になった」とい
った。

群馬大の教官有志の取り
組みは、技術継承だけでなく
学生に電気電子系への関
心を高める可能性がある。
だが、群馬大だけの試みで
とどまっていたのでは、大き
な効果を生み出せないのも事
実だ。さらに多くの企業の
技術者の協力を集めると
もに、他の大学や研究機関
と連携することなどが必要
となりそうだ。(神保進一)